



陶板「2つの流れ」(2025)



播落幾何学文大壺(2025)



播落幾何学文大皿(2019)



播落幾何学文壺(2025)

芸術活動50年の軌跡 飯塚勝康回顧展

Masayasu Iizuka Retrospective Exhibition

会期 2026年3月20日(金・祝)ー4月12日(日)
9:00~17:00(入館受付は16:30まで)

関連事業 【ギャラリートーク】 3月20日(金・祝) 10:15~ / 4月4日(土) 14:00~
【ワークショップ】 親子陶芸体験 3月28日(土) 10:00~12:00
▶対象: 小・中学生と保護者 ▶定員: 20名(10組) ▶申込方法: 窓口・電話・申込フォーム
【作陶のスライドレクチャー・実演】 4月4日(土) 10:30~12:00

会場 袖ヶ浦市郷土博物館
〒299-0255 袖ヶ浦市下新田1133(袖ヶ浦公園内)
TEL 0438-63-0811 Email sode65@city.sodegaura.chiba.jp

月曜日休館
入館無料





1



2



3



4



5



6

1 幾何学文大皿 (2014) 2 掻落幾何学文深鉢 (2019) 3 幾何学文一輪差 (2012)
4 幾何学文深鉢 (2010) 5 掻落幾何学文深鉢 (2023) 6 掻落幾何学文花器 (2013)

飯塚 勝康 Masayasu Iizuka

千葉県市原市に生まれ、アメリカへ留学し、芸術を学ぶ。1982年に袖ヶ浦の地で築窯し、陶芸教室を開講する。袖ヶ浦市根形公民館においても、開館当初より陶芸講座の講師として、陶芸家の育成や陶芸サークルの発展に寄与する。陶芸活動は国内のみにとどまらず、アメリカの大学やアートセンターにおけるワークショップの開催や国際的な展覧会への出品を行う。

代表的な作風である掻き落とし技法による幾何学文は、独自の表現と綿密な設計のもと施文される。

本展覧会では、陶芸制作以前のデッサン画から、初期の陶芸作品、これまでの代表作品など約100点を展示し、芸術活動50年の軌跡をたどる。



撮影：三枝美智雄

略 歴

- 1949年 千葉県市原市生まれ
- 1975年 ロマリンダ大学卒業
- 1981年 カルフォルニア州立ロングビーチ大学 大学院卒業
- 1982年 袖ヶ浦市に築窯
- 1984年 千葉市『呂久呂ギャラリー』にて個展。以後毎年開催
- 1996年 第31回創造展 新人賞受賞
- 1999年 新槐樹社展 東京都知事賞受賞
- 2018年 東京『青山ギャラリーコンセプト21』にて個展
- 2024年 第73回千葉県美術展覧会 県議会議長賞受賞



■車

館山自動車道姉崎袖ヶ浦ICより約15分、アクアライン連絡道袖ヶ浦ICから約15分

■電車・バス

JR内房線袖ヶ浦駅から【平川行政センター】または【のぞみ野ターミナル】行き（休日は【東京ドイツ村】行き）バスで12分、袖ヶ浦公園前で下車し、徒歩8分